



台風7号が紀伊半島から山陰を抜けるコースを辿ったことで、各地で大きな被害がでました。ちょうどお盆と重なったため、鉄道の運休による人々への影響も大きかったようです。命第一。安全第一です。自然災害には、今後も気を付けたいものです。

積極的な生徒指導は、授業改善から ～地区別生徒指導担当者会議に出席して～

ご存じの通り、生徒指導提要が改訂されました。現在、全国や富山県の小中学校では、生徒指導的な今日的課題がたくさんあります。とりわけ、不登校の児童生徒の増加が著しく、大きな問題となっています。今回の改訂では、不登校をなくし、日本中の多くの児童生徒が笑顔で登校できるようにするためにはどのように指導していけばよいかという視点が強く感じられます。これまですべての児童生徒が不登校にならないような未然防止の対応として使われてきた「積極的な生徒指導」という言葉が「発達支持的生徒指導」となり、一層重要視されています。このような中、釜ヶ淵小学校松田校長が中心となって区域小学校生徒指導主事研修会が開催され、子供が行きたくなる学校や学級にするための生徒指導について話し合いが進められました。豊かな発想、柔軟なアイデアで取り組もうとしている先生方に頼もしさを感じました。



先日、地区別生徒指導担当者会議に出席する機会を得ました。その中で、不登校の未然防止策について「学習」というキーワードが出されました。上記区域研修会でも「学習がよくわかる」ことが「学校が楽しい」と感じる理由の第一位であることを話していたので、県と立山区域が心でつながっているなど感じました。事務所長さんや主任生活指導主事さんからも、ただ学習が理解できることだけではなく、「仲間とともによい学びができる喜びや楽しさ」を感じる事が重要であり、教師の授業改善への意識が不可欠である。そしてそれは、児童生徒一人一人が生徒指導の目標である「自己指導能力」を獲得していくことなのだという事を教えていただきました。

不登校の未然防止の一つは授業改善。肝に銘じて2学期の授業を進めましょう。

